

令和4年度総合型選抜3期

小論文課題

[設問]

次の文章を読んで、下線部について自身の経験を踏まえて、あなたの考えを800字以内で述べなさい。

生活はだれでもしている、といってバカにされる。

人間的価値は生活から生まれる、という考えが否定されている。生活を破壊するようなことも仕事のためなら、美しいことのような錯覚をするようになる。

学校は、生徒、学生の生活を停止して、知識の注入を教育だと勝手に決めて、勉学専一を目ざす。学校で生活と言えば、昼の食事と授業の間の休み時間くらいである。それと放課後の部活動はいくらか生活的であるが、一般に運動は勉強と両立しないときめつけられている。学習はもともとは生活の一部として行われるべきものであるが、知識信仰にとりつかれた社会では、学習を生活と切り離せば、学習も進むように思い込むのである。

コンピューター社会では、知識と生活についてこれまでのような考えは許されなくなるはずである。人間は生活があるから人間なのであって、知識がいくらあっても、生活のない人は価値が小さいのである。

本を読み、知識をふやす、勉強をする——はいずれも、生活の一部であるけれども、知識中心に考えると、生活から遊離したことをありがたがる傾向がつよい。

知識そのものは無力で、生活の中で、仕事の中で、使用したときにはじめて力を出す。生活の乏しい知識人間は、知識のもちぐされになるおそれがある。生活あってこそその知識であるが、長い間、学校教育を受けていると、知識のための知識になることがすくなくない。

【外山滋比古『知的生活習慣』より抜粋】